

グラフィックデザイナー豊増秀男 かたち・時代・ユーモア

2015年9月12日(土)～10月25日(日)

1931年に佐賀県鳥栖市に生まれ、現在は福岡市在住のグラフィックデザイナー豊増秀男氏。
 RKB毎日放送勤務を経て、1979年、48歳の時に独立し、グラフィックデザイナーとして活躍をしてきました。
 本展覧会では、シンボルマーク・ロゴをはじめとする100点余りの作品を通じて、豊増氏の多彩な世界を紹介します。

多彩なグラフィック作品の中に 垣間見える時代への思い

代表作である海の日シンボルマークで知られる豊増氏。福岡県内にある企業などのシンボルマーク・ロゴを数多く手掛けるほか、ポスターの分野でも活躍し、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレなど多くの国際展で入選を果たしています。またユーモア溢れるコマ漫画を、今なお精力的に描き続けています。

本展覧会では、豊増氏のこれまでの軌跡を示す100余点を展示。かたちの面白さやユーモアに隠れた、時代に対する鋭い感覚や、戦争、平和への想いに迫ります。

グラフィック
 デザイナー
 豊増秀男氏



「海の日」シンボルマーク (1996年)



「REMEMBER THE MOMENT HIROSHIMA-NAGASAKI 50」ポスター (1995年)

美術館の催し案内 ※入館料は無料です

第16回上野彦馬賞受賞作品展

11月1日(日)～11月13日(金)

本学の建学40周年を記念し、2000年に創設された文化事業「上野彦馬賞」フォトコンテスト。このコンテストは、若い写真家の発掘と育成を目的としています。時代(いま)を切り撮り、美を表現する入選作をご覧ください。



第16回「上野彦馬賞」を受賞した張笑秋さんの作品「荒れ模様」(5枚組のうち1枚)

第45回立玄展

(芸術学部美術学科教職員作品展)

11月20日(金)～11月29日(日)

立玄展は、1971(昭和46)年に始まる九産大芸術学部美術学科の教職員による作品展です。油彩画、版画、日本画、陶芸、金属工芸、染織工芸、彫刻作品、美術史やプロジェクトの研究報告などが展示されます。多彩なジャンルにわたる作品をお楽しみください。

九州・沖縄版画プロジェクト2015

vol.2「東北・九州・沖縄 教員・学生版画展」

12月11日(金)～12月20日(日)

九州・沖縄で活躍するアーティストたちによる作品展「九州・沖縄版画プロジェクト2015」。vol.2では、東北・九州・沖縄の芸術系大学の教員・学生の作品を展示します。

美術館基本情報

開館時間: 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日: 月曜日(11月2日は開館)、年末年始、展示替え期間

入館料: 一般200円、他大学生100円/高校生以下および65才以上の方は無料/本学学生・教職員、公開講座の受講生、退職者の会会員は無料